

ロシア（極東）

極東経済の概況

2014年第3四半期までの極東の鉱工業生産は6.5%の増加（対前年同期比、以下同じ）であった。全国平均を大きく上回る状況が年初から続いている。鉱工業の構成部門のうち、鉱業部門が9.9%増加しているのに対して、製造業部門（1.2%減）、電気・ガス・水道部門（2.4%減）は減少している。連邦構成主体単位での伸び率では、チュコト自治管区が著しく大きい。経済規模から考えて極東の鉱工業生産の増加に寄与しているのは主にサハリン州（9.1%増）だと考えられる。そのサハリン州でも、増加しているのは石油や天然ガスを中心とする鉱業部門（10.4%増）だけであり、他の部門は減少している。製造業部門が増加しているのは、沿海地方（3.6%増）及びユダヤ自治州（20.1%）のみである。

固定資本投資の動向は、依然として前年同期を下回る水準である。ただ、APEC前の大規模投資の反動で減少が続いていた沿海地方で、固定資本投資がようやく底を打つなど、やや改善の兆しもみられる。

消費者物価は、全国と比べると極東では比較的安定していた。9月時点での消費者物価の上昇率は5.6%（対2013年12月比）で全国平均を0.7パーセントポイント下回っていた。しかし、その後はルーブル安の進行などもあって上昇ペースを速め、11月時点では全国及び極東の上昇率はそれぞれ8.4%、8.3%（同）となった。比較的物価が落ち着いた沿海地方で、9月から11月までの3カ月間で3.9%ポイントもの上昇を示して、11月時点で8.9%（同）となったのが目立つ。国際物流の拠点でもあり、輸入物価の影響を受けやすい地域だといえよう。

新型特区「先行社会経済発展区」

2013年秋に就任したユーリー・トルトネフ極東連邦管区大統領全権代表兼副首相及びアンドレイ・ガルシカ極東開発大臣は、極東開発のための新たなツールとして「先行社会経済発展区」と名付けた新型特区を極東各地に設置する

ことを提案してきた。その狙いは、規制緩和や税制上の優遇措置などを用意することで、投資家にとって有利なビジネス環境を整備し、主として輸出志向の製造業を誘致、振興することにある。

予定されている特例措置は、法人税の減免、固定資産税の免除、社会保険料の減額、外国人労働者雇用手続きの簡素化、関税の減免などである。各特区には、具体的な制度運用を行う運営会社が設置されることになる。この運営会社が「シングルウィンドウ」となって、進出企業の各種手続やサービス提供を行う。特区の設置期間は70年という長期にわたる。なお、この特区は当初3年は極東地域だけに設置されるが、その後は全国展開されることになっている。

これら特例措置の導入については、関連省庁の抵抗もあり、制度設計には時間を要した。新型特区の設置に関する法案及び特区における特例措置にかかる関連法の一括改正法案は、関係省庁との調整などのプロセスを経て、2014年10月15日ようやく政府決定された。その後、議会での審議は順調に進み、12月23日に国家院（下院）で採択、12月25日に連邦院（上院）で承認され、12月29日に大統領が署名した。今後3カ月をめどに、極東開発省を中心に関連規定（政令、省令等）の整備が行われ、実際の制度運用が始まる見込みである。

極東開発省では、制度設計と同時に並行で対象地区の選定作業を進めてきており、すでに14カ所が絞り込まれている。地域別では、沿海地方が5カ所で最も多く、次いでハバロフスク地方が3カ所、サハ共和国とアムール州が2カ所ずつ、そのほかカムチャツカ地方とユダヤ自治州に1カ所ずつとなっている。マガダン州、サハリン州及びチュコト自治管区には候補地が無い。純粋にビジネス適地を選んだことで地域的なアンバランスが生じていると考えることもできそうだが、地元の期待や熱意の違いという側面もあるように思われる。いずれにせよ、全てを同時並行で進めるには実務面での制約（端的には担当スタッフ不足）があるので、優先順位を付けたうえで設置・運営されていくことになる。新たな極東開発の突破口となるか、注目すべきだと考える。

（ERINA調査研究部主任研究員 新井洋史）

鉱工業生産高成長率（対前年同期比%）

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月	14・1-3月	14・1-6月	14・1-9月
ロシア連邦	6.3	6.8	0.6	▲ 9.3	8.2	4.7	2.6	0.3	0.0	0.1	0.1	1.1	1.5	1.5
極東連邦管区	4.2	35.1	▲ 0.2	7.6	6.5	8.8	3.1	3.0	▲ 1.9	1.8	3.0	10.5	9.2	6.5
サハ共和国	0.0	0.5	4.2	▲ 13.6	17.6	11.4	6.6	4.2	1.2	5.2	4.5	6.7	2.4	3.5
カムチャツカ地方	1.6	0.6	0.9	▲ 0.2	8.6	20.1	8.9	3.0	1.1	2.0	1.7	▲ 1.1	3.0	▲ 1.4
沿海地方	12.6	2.1	14.6	▲ 2.7	13.6	19.6	12.2	5.2	2.0	10.2	11.6	▲ 8.7	▲ 6.2	0.8
ハバロフスク地方	▲ 10.7	10.1	▲ 7.4	▲ 6.8	21.3	15.8	11.2	1.7	▲ 0.1	2.7	4.7	1.1	0.7	▲ 1.5
アムール州	4.7	2.6	11.4	11.4	0.1	25.6	9.0	10.4	21.0	16.1	11.5	8.5	6.2	4.3
マガダン州	▲ 11.2	▲ 9.0	2.1	5.8	3.3	7.7	7.4	3.6	10.9	5.8	5.3	▲ 9.6	3.6	5.2
サハリン州	31.1	2.3倍	▲ 9.2	26.6	0.0	2.9	▲ 4.1	0.4	▲ 7.4	▲ 3.2	▲ 1.5	20.0	16.9	9.1
ユダヤ自治州	4.2	22.7	18.6	▲ 18.8	2.3	4.1	2.0	▲ 4.2	5.6	▲ 1.9	▲ 1.6	8.7	15.3	18.2
チュコト自治管区	▲ 9.1	▲ 2.3	77.4	16.3	▲ 9.7	▲ 6.5	▲ 1.7	18.0	▲ 3.7	▲ 1.8	5.4	81.7	87.0	47.5

（出所）『ロシア統計年鑑（2012年版、2013年版）』；『ロシアの社会経済情勢（2013年3、6、9、12月；2014年3、6、9月）』（ロシア連邦国家統計庁）。

固定資本投資成長率 (対前年同期比%)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月	14・1-3月	14・1-6月	14・1-9月
ロシア連邦	16.7	22.7	9.9	▲15.7	6.3	10.8	6.6	▲0.2	0.1	▲1.4	▲1.4	▲4.8	▲2.8	▲2.5
極東連邦管区	2.3	18.9	11.7	7.1	6.1	26.5	▲14.8	▲19.5	▲21.5	▲20.9	▲27.1	▲7.0	▲6.7	▲1.3
サハ共和国	2.1	92.2	14.0	9.4	▲36.2	36.9	10.2	▲10.4	▲26.0	▲13.9	▲23.7	7.2	1.7	2.8
カムチャッカ地方	5.2	33.5	5.4	27.7	18.7	▲4.0	5.8	▲10.0	▲59.2	▲44.2	▲1.7	20.6	▲15.3	▲27.7
沿海地方	6.4	20.6	41.5	74.3	21.3	34.1	▲41.0	▲45.2	▲50.6	▲51.1	▲53.8	▲6.8	8.6	9.1
ハバロフスク地方	8.7	22.9	9.9	8.1	52.2	7.8	▲11.3	▲26.2	▲8.2	▲18.0	▲27.5	▲4.6	▲5.5	▲4.4
アムール州	5.1	38.9	24.1	▲11.4	19.5	31.3	▲20.0	▲2.9	▲14.5	▲2.1	▲17.6	▲40.8	▲31.3	▲24.9
マガダン州	23.9	28.7	15.1	▲0.2	▲0.1	4.6	21.3	8.9	72.2	32.5	17.2	▲38.3	25.4	16.6
サハリン州	0.3	▲18.1	▲5.5	▲24.6	11.2	32.6	▲8.1	▲2.5	▲3.4	▲11.2	▲13.8	0.8	▲10.8	4.3
ユダヤ自治州	▲1.2	20.3	4.5	▲16.3	2.0倍	21.6	▲11.5	▲52.3	▲69.1	▲55.0	▲62.1	29.9	▲11.6	▲5.6
チュコト自治管区	▲38.6	1.6	29.5	61.9	▲66.1	70.3	51.6	▲44.3	15.4	23.0	▲19.6	▲13.2	▲65.3	▲34.6

(出所) 『ロシア統計年鑑(2012年版、2013年版)』; 『極東連邦管区の社会経済情勢(2013年)』; 『ロシアの社会経済情勢(2013年4、7、10月; 2014年4、7、10月)』(ロシア連邦国家統計庁)。

小売販売額成長率 (対前年同期比%)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月	14・1-3月	14・1-6月	14・1-9月
ロシア連邦	14.1	16.1	13.7	▲5.1	6.5	7.1	6.3	3.9	3.9	3.7	3.8	3.5	2.7	2.3
極東連邦管区	12.9	11.2	10.6	0.7	3.7	5.3	4.8	4.9	4.2	4.5	5.0	2.8	2.3	3.0
サハ共和国	8.6	7.4	7.6	2.1	3.6	2.7	2.6	4.5	0.9	2.4	3.0	2.3	2.0	2.8
カムチャッカ地方	10.8	12.8	9.4	1.6	3.1	5.0	2.6	0.1	0.4	0.2	0.2	0.8	▲0.9	▲0.6
沿海地方	12.9	11.8	9.9	▲2.3	2.2	3.5	4.4	8.3	5.6	7.3	8.9	3.6	3.3	4.1
ハバロフスク地方	13.3	15.3	7.9	3.6	6.2	6.4	4.9	4.3	5.9	5.8	5.1	4.2	4.2	4.1
アムール州	13.7	12.0	12.8	▲2.5	6.0	18.7	14.3	5.4	7.2	5.7	4.6	4.4	2.4	3.9
マガダン州	9.6	10.0	3.1	▲0.3	4.4	5.5	6.3	6.2	9.3	8.9	7.4	▲1.4	2.6	4.9
サハリン州	22.1	7.9	20.0	2.5	1.3	2.2	1.4	2.1	0.7	▲0.3	2.7	0.5	▲0.2	0.5
ユダヤ自治州	5.4	6.1	8.1	1.9	2.7	▲5.8	4.2	▲0.9	2.3	0.6	0.1	▲1.7	▲2.8	▲4.5
チュコト自治管区	6.4	12.9	55.9	3.2	8.2	1.6	▲8.6	▲9.6	▲5.0	▲8.2	▲8.1	▲4.4	▲8.3	▲6.9

(出所) 『ロシア統計年鑑(2012年版、2013年版)』; 『ロシアの社会経済情勢(2013年3、6、9、12月; 2014年3、6、9月)』(ロシア連邦国家統計庁)。

消費者物価上昇率 (対前年12月比%)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月	14・1-3月	14・1-6月	14・1-9月
ロシア連邦	9.0	11.9	13.3	8.8	8.8	6.1	6.6	6.5	1.9	3.5	4.7	2.3	4.8	6.3
極東連邦管区	8.8	9.6	13.6	9.7	7.7	6.8	5.9	6.6	1.9	3.4	5.1	1.7	3.7	5.6
サハ共和国	11.9	9.0	12.5	8.2	6.0	7.0	5.4	6.0	1.6	3.0	4.8	1.7	3.5	7.1
カムチャッカ地方	11.6	10.1	14.8	10.7	10.2	5.8	5.6	6.3	1.0	2.5	5.1	1.2	3.0	5.2
沿海地方	7.1	9.7	13.5	9.5	7.0	5.6	6.0	6.3	2.1	3.4	4.8	1.9	4.1	5.7
ハバロフスク地方	8.7	9.8	14.1	9.5	8.1	7.9	5.4	6.3	1.9	3.5	4.9	2.0	4.0	5.5
アムール州	9.1	9.6	14.1	9.6	9.4	7.6	7.2	7.7	1.8	3.7	5.7	1.5	3.4	4.8
マガダン州	8.1	13.3	19.3	13.4	8.5	9.2	8.7	9.0	2.8	4.3	7.4	▲1.0	1.1	2.0
サハリン州	10.4	11.8	13.1	10.7	10.0	6.4	6.0	6.5	1.8	4.0	4.7	1.6	3.6	5.3
ユダヤ自治州	5.5	11.7	15.0	12.2	9.5	8.9	6.5	8.5	2.5	4.1	6.6	1.7	3.8	5.5
チュコト自治管区	11.2	7.5	9.9	17.2	1.4	5.4	6.0	5.2	2.8	2.9	3.9	2.7	4.0	2.9

(出所) 『ロシア統計年鑑(各年版)』; 『ロシアの社会経済情勢(2013年3、6、9、12月; 2014年3、6、9月)』(ロシア連邦国家統計庁)。

実質貨幣所得成長率 (対前年同期比%)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月	14・1-3月	14・1-6月	14・1-9月
ロシア連邦	14.1	13.1	3.8	1.8	5.4	1.2	5.8	3.7	5.0	5.2	4.2	▲1.8	▲2.3	0.9
極東連邦管区	12.1	10.6	3.4	4.0	3.5	1.5	4.9	4.7	6.1	5.7	4.9	▲3.8	▲1.7	0.1
サハ共和国	6.1	5.1	8.6	1.7	2.9	3.4	5.9	2.6	2.9	1.1	1.9	2.9	▲4.4	0.6
カムチャッカ地方	7.1	8.8	4.9	3.9	3.2	▲0.8	3.6	0.6	4.4	4.9	1.6	▲5.5	▲5.7	▲3.3
沿海地方	15.0	10.6	4.0	6.5	5.5	2.9	5.1	5.9	8.0	8.9	9.6	▲3.8	4.0	2.7
ハバロフスク地方	14.3	12.1	▲4.9	8.4	4.7	▲2.8	2.7	4.5	6.6	5.5	4.0	▲12.7	▲0.9	▲1.4
アムール州	10.3	19.6	11.5	▲5.5	0.4	12.9	13.3	2.6	4.0	3.6	0.3	1.7	▲3.9	▲1.6
マガダン州	9.1	6.8	1.0	2.5	3.8	▲2.0	10.5	6.2	2.0	7.2	0.2	▲7.4	▲2.2	▲4.1
サハリン州	14.1	12.4	6.8	▲0.6	▲2.2	▲3.1	▲1.3	12.7	11.9	8.5	9.4	2.0	▲6.3	2.5
ユダヤ自治州	8.3	5.5	12.0	4.7	3.5	▲3.2	2.2	▲0.7	0.6	1.5	▲1.1	1.5	▲9.5	▲3.5
チュコト自治管区	7.2	4.4	5.2	▲8.1	6.0	9.5	5.9	▲15.6	▲2.5	▲2.2	▲0.9	▲5.8	▲6.1	▲4.1

(出所) 『ロシア統計年鑑(2010年版、2012年版、2013年版)』; 『ロシアの社会経済情勢(2013年4、7、10月; 2014年1、4、7、10月)』(ロシア連邦国家統計庁)。

*斜体: 速報値

平均月額名目賃金 (ルーブル)

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	13・1-3月	13・1-6月	13・1-9月	14・1-3月	14・1-6月	14・1-9月
ロシア連邦	10,634	13,593	17,290	18,638	20,952	23,369	26,629	29,960	28,788	27,339	29,044	30,057	31,509	31,581
極東連邦管区	13,711	16,713	20,778	23,158	25,814	29,320	33,584	37,357	35,608	33,876	35,643	37,704	39,469	39,234
サハ共和国	16,168	19,409	23,816	26,533	28,708	34,052	39,916	46,162	43,411	39,825	42,780	45,844	49,139	47,847
カムチャッカ地方	18,541	21,815	27,254	31,570	35,748	39,326	43,552	48,591	47,641	43,812	46,925	49,577	52,284	51,540
沿海地方	10,903	13,174	16,805	18,997	21,889	24,423	27,445	29,970	28,419	27,282	28,479	30,488	31,693	31,537
ハバロフスク地方	12,888	15,884	18,985	20,455	22,657	26,156	31,076	33,819	32,095	30,707	32,393	33,352	34,835	35,071
アムール州	11,111	13,534	16,665	19,019	21,208	24,202	26,789	29,895	28,797	28,037	28,875	30,015	31,449	31,366
マガダン州	17,747	22,102	28,030	32,657	36,582	41,934	49,667	57,101	55,374	52,797	54,848	55,446	58,812	59,065
サハリン州	18,842	23,346	30,060	32,626	35,848	38,771	44,208	48,438	46,509	45,792	47,269	52,810	53,238	53,102
ユダヤ自治州	9,529	11,969	15,038	16,890	19,718	22,928	25,067	27,154	26,117	24,869	26,160	27,305	28,591	28,526
チュコト自治管区	25,703	30,859	38,317	42,534	46,866	53,369	60,807	70,191	67,783	65,035	67,786	71,352	75,399	74,600

(出所) 『ロシア統計年鑑(2010年版、2012年版、2013年版)』; 『ロシアの社会経済情勢(2013年4、7、10月; 2014年1、4、7、10月)』(ロシア連邦国家統計庁)。